

ニュージーランド留学を終えて

自然科学研究科 畠瞳美

1. 留学の理由・目的

私は現在、日本の北アルプス・白馬大雪渓における地形災害について研究しています。白馬大雪渓では落石事故が毎年起こっていますが、現状では日本の山岳地域の落石研究は未だ進んでおらず、落石事故の具体的な注意喚起も行われていませんでした。一方、同じ山岳国のニュージーランドでは登山観光業に力を入れており、同国カンタベリー大学では、山岳地域の落石研究において UAV（無人航空機）を用いた先進的な調査が行われていることを知りました。また、その成果を社会に還元するアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、留学を通じてそれらを学びたいと思ったことがきっかけです。『山岳地域の落石研究や社会への還元プロセスを学び、日本における落石事故の軽減と登山観光業の発展に貢献する』ことを目的に、2016年10月～2017年2月の約4カ月間ニュージーランドのカンタベリー大学に留学しました。

2. 留学先での学習活動と生活の環境

留学先では、主にオフィスワーク（実験、データ解析）と現地調査を行いました。オフィスワークでは1部屋を自分のオフィスとして貸していただき、担当教授と議論を重ねながら新しい落石研究手法の開発に取り組みました。現地調査は南島西海岸にあるフォックス氷河に車で行き、無人航空機による空撮やGPS 測量を行いました。また、留学中は大学の修士・博士の学生が使うシェアハウスに滞在していました。シェアハウスでは世界の様々な国からカンタベリー大学に勉強しに来ている学生がいて、とても刺激になり、アパートではなくシェアハウスを選択して本当によかったと思います。ニュージーランドは物価が日本よりも高く、大学所有のシェアハウスでも月に約7万円かかりました。

3. 印象に残った留学中のエピソード

日本発信プロジェクトとして日本食パーティーを実施しました。お好み焼きや唐揚げ、てまり寿司、フルーチェなど、現地でも手に入る食材で日本食をみんなで作り、日本酒や日本ビールと共に味わいました。

ニュージーランドではアジアマーケットなどで日本の食材は比較的手に入りやすかったです。シェアハウスには中国、ネパール、ナイジェリア、イギリス、コロンビアなど、世界各国の人達がいたので、日本食が受け入れられるか不安が大きかったです。みんなが美味しいと言って食べてくれました。また、「今度ぜひ日本でお好み焼きを食べたいから美味しいお店案内してね」「日本に遊びに行くね」と言ってくれて、とても嬉しかったです。

4. 留学の価値

留学を通して学んだことは2つあります。1つ目は、「どんな目標も自らが行動に移せば実現する」ということです。私は学部生時代、漠然と海外留学に興味がありましたが、ガイダンスに行くだけで特に行動に移すことはしていませんでした。しかし、自分が何をしたいかを見つめ直し、行動に移すことによって留学を実現することができました。現在の生活から一歩踏み出すことは大変なことですが、そこで行動することによって得られるものは想像以上に大きく、これからも何事にもチャレンジしていきたいです。2つ目は、「英語力の必要性」です。私は授業は受けていませんでしたが、研究の議論や友達とのコミュニケーションは英語で行っていました。日本の研究室にも留学生がいて日常的に英会話をしていたので、語学にそこまで不安は感じていませんでしたが、英語を母国語としている国での英語は全く違い、非常にショックを受

けました。最初は何を言っているのか全く聞き取ることができず、スーパーの買い物すらうまくできず、誰にも会いたくなくて部屋に1日引きこもっていた時もありました。しかし、留學生活の中で皆の会話についていこうと必死に勉強していくうちに、帰国後のTOEICは約200点上がりました。また、英語を話すことに抵抗を感じなくなったことも、留學を通して得られた力だと思います。一度海外に出て自分の英語力の無さを痛感したことで、現在も英語学習のモチベーションを保つことができます。

留學は、自分の人生を見つめなおすきっかけになりました。日本で過労死の問題が騒がれている中、ニュージーランドの人々は仕事とプライベートのバランスを非常にうまくとっていたように感じます。そして、皆明るく、人生を楽しんでいる空気を感じました。自分が大切にしたいものは何なのか、やりたいことは何なのか、改めて考える良い機会となりました。

5. トビタテで留學してよかったこと

私はトビタテの5期生として留學しました。5期生はニュージーランドに留學していた人が私を含めて3人という少人数でしたが、少人数だからこそいつでも相談し合える関係を築くことができましたように思います。やはり海外留學中に出てくる様々な悩み・相談ができる友達が同じ国にいることは非常に心強かったです。また、トビタテコミュニティは非常に魅力的で、Facebookやtwitterを通じて他のトビタテ生の頑張っている姿を知ることができ、自分も頑張ろう！という気持ちになりました。

トビタテはお金のサポートだけではなく、事前・事後研修で自分の留學や人生について深く考える機会も作ってくれます。その中で全国のトビタテ生と知り合うことができ、友達の輪が圧倒的に広がりました。トビタテというプロジェクトの一員になることができ本当に良かったです。



